



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

令和6年10月号
令和6年10月1日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

E-Mail
shimoochiaie@saitama-city.ed.jp

運動会のテーマ 「成長」と「感謝」

校長 小田切 倫子

9月だというのに、厳しい残暑が続いています。先月、お手紙でお知らせいたしましたとおり、10月下旬頃まで病気休暇をいただきますことから、学校だよりを9月中に書いています。このお便りが届くころには、爽やかな秋の風が吹いているとよいのですが…。

さて、今月号は、運動会についてです。今年度、下落合小学校の運動会は、グレードアップで開催します！！どのような点がグレードアップかと申しますと、「**児童一人ひとりの力を結集して、学校全体が一つにまとまり団結する**」という新たな“価値づけ”をしたところです。運動会は、これまで、赤組と白組に分かれ、どちらが優勝するかを競うことをとおして、運動能力や団結力を高めてきました。ただ、新型コロナウイルスのため様々な制限を余儀なくされましたことから、分散して行ったり、得点や応援無しで行ったりするなど、ここ数年は、従来^レの運動会とは違う形で行われていました。新型コロナウイルスは収まり、昨年度は応援合戦も復活し、少しずつ従来^レの形を取り戻していたところではありますが、暑さ対策として時間短縮等が必要となりますことから、一競技ごとに得点を重ね、それを見ながら『○組が勝ってる！』『逆転するため、がんばらなくちゃ！』と一喜一憂したり、『○組の勝利を目指して、プレー、プレー○組！』と熱のこもった応援をしたりするといった、運動会の醍醐味がぼやけてしまうという課題がありました。そこで、生まれたのが前述の価値。赤組白組に分かれるのではなく、学校全体が一つにまとまり団結することを目指します。例えば、1・3・5年生が行う個人走。順位により得点が加算されていた頃は、よく、「自分の組のため、1つでも上の順位を目指そう！」や、「例え最下位でも、自分の組に1点貢献できるんだから、参加できることがすばらしいんだよ」などと指導していました。でも、今年からの新しい運動会では、「○組のため」ではなく、一人ひとりがしっかりとした目標をもって、今の自分より少しでも向上することを目指します。“スタートダッシュを上達させる”や、“走りのフォームを意識する”など、自分なりの目標をもつことが大切です。2・4・6年生が行う団体競技では、自分のクラスが勝てるように、作戦を練ったり、教え合ったり、励まし合ったりして、クラスの団結を高めることを目指します。ダンスや民舞などの表現では、その踊りでどんなことを表したいかを考え、体を隅々まで使って表したり、どうやったら思いが伝わるかをみんなで話し合ったり工夫したりして、学年という大きな集団だからできるダイナミックな表現を目指します。共通していることは、運動会をとおして、今より「**成長**」すること。運動能力や団結力など、体も心も「**成長**」することを目指すのです。そのために、どんな時も一生懸命取り組みます。練習でも本番でも、勝っている時も負けそうな時も、歯を食いしばってがんばります。点数には表れない、その過程が「**成長**」につながるからです。もう一つのテーマがあります。それは、「**感謝**」です。運動会は、保護者や地域の方々に見ていただく行事です。ですから、日頃お世話になっている方々に、がんばる姿で「**感謝**」の心を伝えます。今年生まれ変わる、グレードアップの運動会のテーマは、「**成長**」と「**感謝**」。この2つのテーマを、一人ひとりが心に刻み、実りある行事となるよう、一丸となって取り組んでまいります。6年生各クラスから選出された『応援長（児童がネーミングしました）』を中心に、オープニングエールも準備を進めていますので、乞うご期待です！皆様の御来校を、心よりお待ち申し上げます。